

事務事業名		家庭生ごみ分別収集推進事業			会計	一般会計					
課等名		環境課			事業種別	政策		開始	14	終了	
係等名		廃棄物対策係									
基本計画上の位置づけ		政策	5	人の営みと自然・環境が調和したまちづくり							
		施策	56	廃棄物の減量と適正処理							
目的	対象(誰・何を)	・旧市内JR飯田線東側区域の一般市民			対象指標	指標名及び単位			24年度数値		
	意図(どういう状態にするか)	・区域内家庭からの生ごみを堆肥化することにより、再利用する。				対象区域内の世帯数(4月1日現在)			3232		
	向上させたい上位施策の成果指標	ごみの収集量									
目標	種別	指標名及び単位			24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)		
	成果指標	年間の家庭生ごみ分別収集量(t)			161	179	158	151			
	成果指標	参加町内の世帯数			2876	2877	2869	2848			
	定性目標										
事業概要	旧市内JR飯田線東側地域内の、家庭から排出される生ごみを分別収集する。 1 家庭から排出されるごみの減量化の推進										
24年度事業内容	事業内容				名称				活動指標		
	1 家庭生ごみ分別収集の実施 (1) 家庭生ごみの分別収集運搬委託 (2) 分別収集の徹底を図るため、参加町内の全世帯へのチラシの配布				1 (1) 家庭生ごみ分別収集量 (2) チラシ配布枚数				1 (1) 179t (2) 2,877枚		
事業コスト		23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足					
事業費計(千円)①		13,204	13,161	13,149	13,161	(そ)ごみ処理手数料12,282千円					
国庫支出金											
県支出金											
起債											
その他		11,988	11,405	12,282	11,405						
一般財源		1,216	1,756	867	1,756						
人件費計(千円)②		2,038		2,038							
正規職員所要時間		570		570							
臨時職員所要時間											
総事業費①+②		15,242	13,161	15,187	13,161						
事業内容・目標達成状況の振り返り	家庭生ごみ分別収集量の増加が見られた。										
改革改善の考え方	①問題点	現状の成果指標のみでは、その増減に伴う評価が難しい。									
	②改革提案	現状の成果指標を補完する、対象区域内市民の協力の度合いが把握できる指標について研究していきたい。									